



ライフ熱都の運営状況

理事長 綾野憲夫

寒さを感じる日々が多くなり、猛暑が懐かしくさえる季節になりました。会員の皆様お元気でお過ごしでしょうか。

我々スタッフは、12月9日の第2回熱海温泉元気アップセミナーと12月25日からの市民写真展の準備に追われています。

さてライフ熱都がNPO法人として正式スタートして約半年がたちました。この間の主なイベントは松木路子さんの対馬丸の悲劇の朗読会と音楽会、クリスタルカフェ「紫雲木」の提案でしたが、いずれも初めての試みでそれなりの形はできたように思いますが、幾つかの問題点を見出すこととなりました。また、内部向けにはホームページの充実、定例会の開催、ライフ熱都だよりの発行等をルールに乗せてきましたが、いずれも進化の途上にあります。

最近会員の方から、「私は何をしたいのか分からない、分からないから面白くない」という意見を聞きました。実のところスタッフにも不完全燃焼のくすぶりがあります。その原因はいろいろあると思いますし、その改善は簡単ではないと思われます。

一つ言えることは、組織が身の丈以上に分化し過ぎてしまい全員のパワーが集中しにくくなっていることです。会員数でこそ65名となりましたが、現状での常時活動メンバーは昨年とほぼ同じ顔ぶれです。我々の9分野での元気隊がそれぞれのテーマで活動していくには絶対的にマンパワーが不足しているのです。

現状組織を崩さずに解決する方法は何か。

- 1、それは各自が垣根を越えたお手伝いを積極的にすること。
- 2、またその為の風土を作る努力を惜しまないこと。これらのことを具体策としてどのような形にするのか、これから皆さんと議論を深めていきたいと思ひます。

第二回熱海温泉元気アップセミナーを開催します ～ 受講者募集中！～

温泉で元気隊 矢崎・酒井

後藤康彰講師による第一回セミナーを開催しご好評頂きました。第二回の今回は、第一部・基調講演として、社会的なトレンドである「ヘルスツーリズムと熱海」の関係を作新学院大学・樋口善英教授に紐解いて頂きます。

また第二部として、身近な実生活に役立つ「熱海養生法」「足湯養生法」の実技を、熱海養生法実行委員会の佐野雄二会長と株式会社リボンプロジェクトの古賀美那子所長にお願いし開催することとなりました。熱海養生法は、NPO法人エイミックが開発、普及してきたもので、普段気軽にでき効果が期待できる指圧・マッサージ法です。写真入の手引書を資料として配布し、お帰りになった後の日常生活で実施できるように致しました。皆様のお越しをお待ち申し上げます。

第2回 熱海温泉元気アップセミナーの概要

開催日：平成30年12月9日(日) (開場午後1時)

時間：午後1時30分～3時30分

場所：起雲閣・ギャラリー

参加費：* テキスト持参の方 無料

*はじめての方 1500円 (テキスト代)

1000円 (会員)

受講者には「足湯養生法実施マニュアル」プレゼント！
(A4-8ページ)



市民写真展開催までもうわずか！

歴史で元気隊 綾野 鎌田

歴史で元気隊が中心になり、今年度のメインイベントの市民写真展の開催準備をカレンダーに追いかけてられながら進めています。

ホームページでお知らせしているように、8月頃から写真集めを開始し、9月から市役所、図書館などと協議し会場決定を急いでいましたが、市民展ということで市役所周辺にとのこちらの要望になかなか見合う会場が見つかりませんでした。

最終的に本年4月に行った**駅ビル・ラスカ熱海の3階**を会場とすることになりました。一般市民の方には市役所周辺と比べると少し不便でしょうが、観光客の目に触れるチャンスは圧倒的に駅ビルが優位であるとの判断によるものです。

会期は**12月25日～1か月間**です。

写真集めはかなりはかどってきましたが、全市民からすると1割にも認知されていないかもしれません。ですが、それでも20人ほどから200点を超える写真、資料の提供を受けることができました。この企画も2回、3回と続けることにより確実に市民に浸透しより内容の深いものとなると確信しています。

さて、このライフ熱都だよりをご覧ください。会員の皆様に、取って置きのお宝写真を事前にご披露します。



左の写真は1949年8月にアメリカ軍兵士によって撮影された下多賀の少年達です。この写真が熱海の子供たちと分かったのは1985年になってから。また、当時カラー写真の現像は日本ではできなかったといいます。

この他、珍しい写真、懐かしい写真がいろいろあります。ご期待ください。

また期間中に、イベントとして

①写真の人気投票

②子供たちの作った版画集の復刻版や絵葉書の販売等を企画しています。

子供で元気隊・増やして元気隊・100歳元気隊のこれまでとこれから

青田 克巳

1、子供で元気隊の活動報告



熱海に移住してきた女優の松木路子さんの講演を子供で元気隊が主催し、9月5日(水)ホテル・サンミ倶楽部のホールにて158名の皆様の来場をいただき無事終了しました。

熱海市、熱海市教育委員会の後援をいた

だき入場料1人2500円を頂戴しましたが、経費を差し引くと利益は出ませんでした。

ご来場の皆様のアンケート結果を見ると「久しぶりに泣きました」「次回のイベントが楽しみです」などの嬉しいご意見のほか「会場の音響効果が悪く、照明操作も悪い」などのご意見も頂き、今後の参考になりました

2、増やして元気隊の活動報告

早稲田大学理工学部が首都圏からの移住者に対し、面談方式で熱海に移住する前と後での満足度を調査する研究をしています。調査の内容は1. 熱海生活に求めたもの 2. 現在の満足度 3. 意外に良かったところ、悪かったところ などの聞き取り調査です。

増やして元気隊もその調査に協力し、意見交換しました。それによると全国でも熱海市は他府県から移住される方が多い地域だそうです。結果は来春になりますが熱海を元気にするヒントがあるかもしれません。

3. 100歳元気隊の来春イベント

①お医者様の講演

順天堂大学で病理、腫瘍学講座を担当されている医学博士 樋野興夫先生(パソコンで検索してみてください) をお願いすることになっています。

②交通対策の視察を企画

掛川市のシニアの集まり・掛川一期会が実施している山間部の買い物難民、病院難民の救済方策の視察会を計画中です。これは静岡県コミュニティーづくり協議会からの紹介によるものです。